

# 令和元年度 京都中小企業技術大賞 表彰式



技術開発に成果を挙げ、京都産業の発展に貢献した企業等の功績を讃え顕彰する「京都中小企業技術大賞」の表彰式を11月28日、京都市リサーチパーク サイエンスホールにおいて執り行い、技術大賞を受賞された日産スチール工業株式会社をはじめとする受賞企業7社及び優秀技術者賞を受賞された31名の方に表彰状等を贈呈しました。

その後、技術顕彰委員会 委員長 杉山進氏からの講評があり、続いて、日産スチール工業株式会社 代表取締役 西部清志氏に受賞者を代表し、ごあいさついただきました。また、各企業から、受賞テーマについてプレゼンテーションが行われました。さらに、併設のパネル展示コーナーにて展示交流会を開催し、多くの方の関心を集めました。2月に開催する「京都ビジネス交流フェア2020」においても「京都中小企業技術大賞コーナー」を設け、受賞企業の展示等を行う予定です。

今年度、受賞の栄誉に輝いた企業、技術者及びその優れた技術は、次のとおりです。

## 技術大賞受賞企業のコメント

日産スチール株式会社 代表取締役 西部 清志 氏

「野菜・果物の出荷の際に発生する廃棄ロスを減らし、農家の方々のお役に立ちたい」。そう考えたのが、今回技術大賞を受賞した鮮度保持フィルム「Freshmama」を開発する発端でした。果物や野菜が成熟・老化の原因となるエチレンガスを分解する機能を持った触媒を発見し、これを含有したフィルムの開発を思い立ちました。苦労したのは、素材の機能を高めること。川上茂樹農学博士（大阪大学産業科学研究所特任准教授）と連携し、科学的な検証を重ねたことはもちろん、社員と何度も食味検査を繰り返し、またさまざまな産地に足を運び、農家の方にも協力を得てサンプルを検証するなど、苦心の末に商品を完成させました。「Freshmama」を活用することで、これまで難しかった生鮮品の海外輸送も可能になります。輸送コストや食品ロスの削減につながり、農業や食品に関わる方々に貢献できると考えています。現在、販売拡大に向けて準備を進めていますが、今回の受賞が「Freshmama」に対する信頼性を高める後押しになると心強く思っています。何より社員のモチベーションの向上につながっていることが嬉しいです。



### ◆京都中小企業技術大賞(1社)

鮮度保持フィルム「Freshmama」	日産スチール工業株式会社 代表取締役 西部 清志
---------------------	--------------------------

### ◆京都中小企業優秀技術賞(5社)

超微細精密金属加工技術を駆使した半導体検査用プローブ	株式会社ウィル 代表取締役 堀田 千恵子
連続成形スパイラル製造における金型の開発	株式会社京スパ 代表取締役 和久田 孝雄
画像データオリジナル性証明システム「FAMINOS」	株式会社扶桑プレジジョン 代表取締役 竹田 直人
シールド内蔵低容量ドット受光IC	マイクロシグナル株式会社 代表取締役社長 渡辺 國寛
カラー豆類外観検査装置DrBean AI手選りさん	ワイエムシステムズ株式会社 代表取締役社長 池田 豊

### ◆京都中小企業特別技術賞(1社)

超音波加工機による抹茶用石臼加工技術	伸栄株式会社 代表取締役 加野 信彦
--------------------	--------------------

### ◆京都中小企業優秀技術者賞(31名/7社)

(順不同、敬称略)

- 日産スチール工業(株) / 塚本 正人、幡中 秀史、西部 正太郎、岸本 充永、西本 英世
- (株)ウィル / 堀田 英嗣、小林 秀俊、竹松 健一、北岡 正人、辻 清司
- (株)京スパ / 福井 隆、和田 一男、宇野 浩
- (株)扶桑プレジジョン / 宿院 康昭、金地 順平、横倉 和人、山本 寛子
- マイクロシグナル(株) / 山本 猛、小縣 正明、草野 世理、渡辺 高都
- ワイエムシステムズ(株) / 池畑 敏、大橋 淑浩、牛嶋 雅行、竹内 美登里、佐竹 孝仁
- 伸栄(株) / 加野 敦史、中西 一雅、澤 伸朋、加野 健一、加野 信長



●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 新産業推進部 新産業推進グループ TEL:075-315-8677 E-mail:kensho@ki21.jp